

●福津市の農業

カリフラワーの栽培が盛んなほか、イチゴやキャベツ、米・麦・大豆の生産も盛んです。農業委員会、普及指導センター、活性化機構、農業協同組合等と連携を図りながら、農業を担う人材の育成や就農後の定着、経営展開、地域全体での農用地の確保・有効利用を図っています。



魅力ある農業形態をつくっていききたい

interview

○農家 麻生正雄さん

50年近く市内で米・麦・大豆を生産しています。耕作している農地の多くは、病気や高齢で農業を続けられなくなったかたから託された農地で、市全体で57ヘクタールの農地を法人管理しています。福津市でも農家が年々減少していて、分散している土地を集積して農地の有効活用を図るように、農家同士で、何度も話し合い協力して地域の土地を守っています。今後は、30〜40代の若い農家さんたちにも、関わってほしいと思っています。ここ福津市には、農地も協力体制もあります。地域の農地を守りながら、農地を活用した魅力ある新しい農業形態をつくっていききたいと思っています。



同じ方向を向いた仲間とともに

interview

○漁師 赤間幸明さん

●福津市の漁業

福間・津屋崎に漁港を備えて、福間漁港における船当たりのマダイの水揚げは県内有数です。また、カキの養殖などの取り組みも進めていて、育てる漁業を視野に入れながら、所得の向上、技術の継承、担い手の創出を進めています。



農業

私たちは、日々誰かに支えられて生きています
人のチカラこそ福津市を明日へ率いていきます

漁業

子育て

福津を率いたまちおこし

人のチカラ

福祉



●福津市の子育て

令和6年4月、こども家庭センターを開設。妊娠期から概ね18歳までの子どもとその家庭を対象に、一人一人に寄り添ったつながりのある子育て支援を行っています。市公式ホームページや子育て支援アプリ「こどもの国」を用いた多彩な子育て情報の発信にも力を入れています。

福津市内に助産院を構えて13年になります。助産師として、産後ケアや市内3中学校での妊娠・出産の出前講座、赤ちゃんが誕生したご家庭を訪問する市の「赤ちゃん訪問事業」などに携わっています。合併後は子育て世帯の増加が続く、多いときは月に50件以上訪問すること。核家族化が進み、身近に子育てのロールモデルが少ない中で出産・子育てをする家庭が増えていますが、時には誰かに頼り、頼られ互いに支え合えることが大事だと思います。妊娠・出産・子育ては何も「特別なこと」ではなく、今も昔も私たちの暮らしの中にあるもの。自分や子どもの持つ力を信じ「未来につながる妊娠・出産・子育て」であってほしいですね。



市と団体の共同事業で「健康レクサポーター養成講座」を受けたことを機に「これからはこれだ。せつかく学んだことを地域に還元して伝えていきたい」との思いから、当時の受講メンバーとともに平成30年にこの「健康レクサポーターの会」を立ち上げました。現在会員は50人ほど。毎月1回専門の講師を招いて、認知症予防、口腔機能の向上など介護予防全般の研修を行っていて、それをもとに地域のサロンなどに出向いて活動を行っています。地域の「通いの場」は、地域の皆さんにとっては元気をもらえる場所です。定期的な人とのふれあいはとても大切です。元気と笑顔を渡ししながら、私も元気をもらっています。

未来につながる妊娠・出産・子育てを

interview

○にじいろ助産院 助産師 益永孝子さん

みんなに会えて元気をもらえる場所に

interview

○健康レクサポーターの会 中島美和子さん

●福津市の福祉

健康寿命の延伸、生活習慣病の早期発見、発症予防・重症化予防に向けた健診（検診）受診率の向上、健康維持・増進のための生活習慣の改善に取り組むほか、乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた健康づくりを行っています。

